
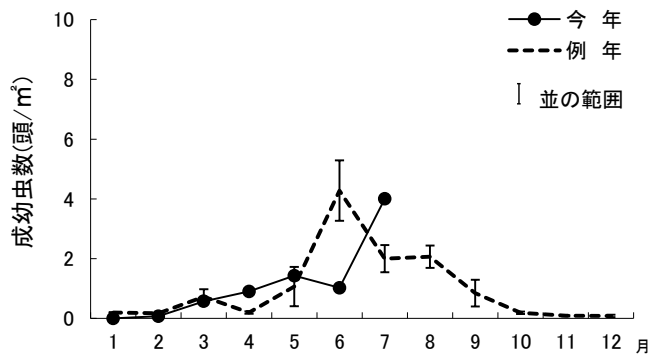


作物	さとうきび	地域	宮古群島
病害虫名	バッタ類		
7月の発生量（現況）	多		
8月の増減傾向	↗		
増減傾向の根拠	採草地における成虫・幼虫数の例年の発生推移から、7月より発生量は増加すると考えられる。		

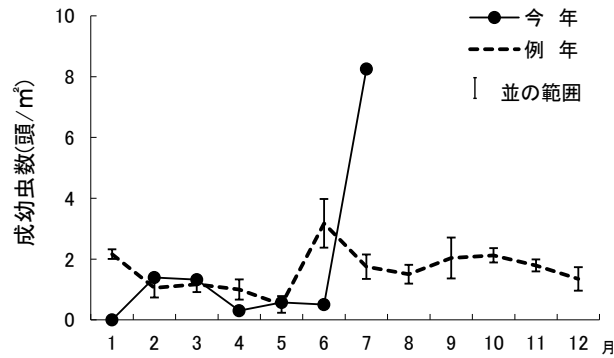
発生量の根拠（調査結果）

採草地



来間島におけるバッタ類(採草地)の発生推移

さとうきび圃場




来間島におけるバッタ類(さとうきびほ場)の発生推移

・ 来間島の一部地域では多発していた。（発生種：台湾ツチイナゴ）

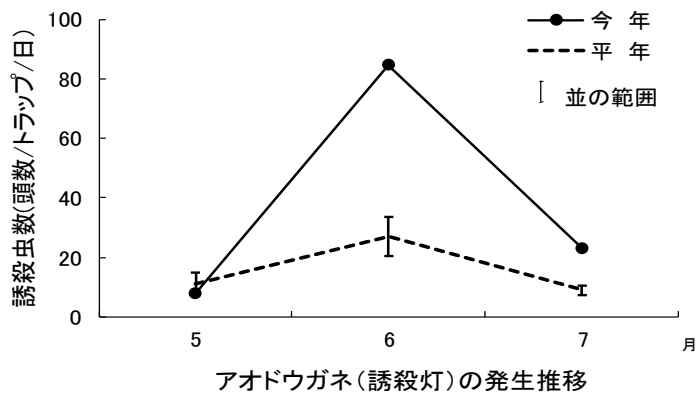
防除のポイント

- ・ 発生源となるほ場及び周辺のイネ科雑草の除草を徹底する。
- ・ 幼虫期の防除が効果的なので、ほ場周辺の見回りを行い幼虫の早期発見・防除に努める。

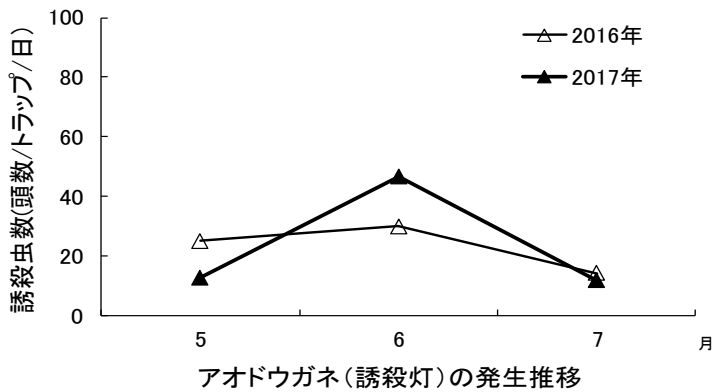
作物	さとうきび	地域	宮古群島
病害虫名	① アオドウガネ		
7月の発生量（現況）	多		
8月の増減傾向	↓		
増減傾向の根拠	成虫の主な発生時期は5月～7月であることから、7月より発生量は減少すると考えられる。		

発生量の根拠（調査結果）

今年と例年の推移




過去2年間の推移



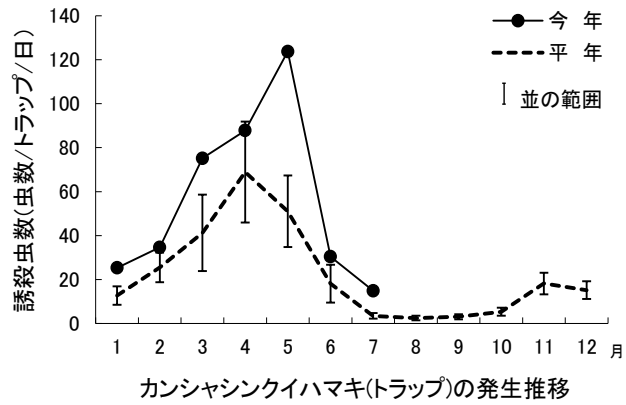
防除のポイント

- ・ 発生源となるほ場及び周辺のイネ科雑草の除草を徹底する。
- ・ 幼虫期の防除が効果的なので、ほ場周辺の見回りを行い幼虫の早期発見・防除に努める。
- ・ 今期、夏植えするほ場は植付け時に粒剤処理する。

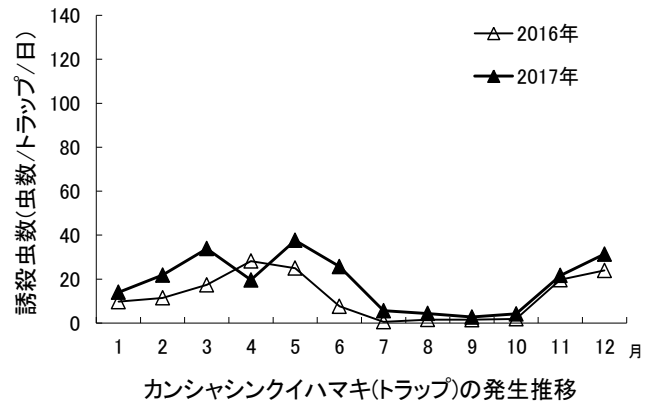
作物	さとうきび	地域	宮古群島
病害虫名	② メイチュウ類(カンシャシクイハマキ)		
7月の発生量(現況)	多		
8月の増減傾向	→		
増減傾向の根拠	トラップ誘殺虫数の平年の発生推移から、7月と同程度の発生量と考えられる。		

発生量の根拠(調査結果)

今年と平年の推移




過去2年間の推移



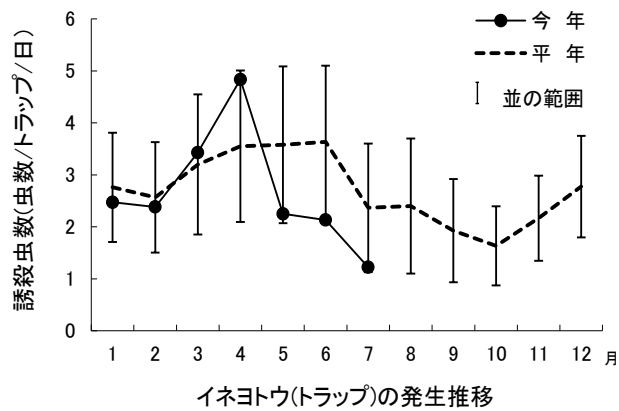
防除のポイント

- ・発生源となるほ場及び周辺のイネ科雑草の除草を徹底する。
- ・幼虫期の防除が効果的なので、ほ場周辺の見回りを行い幼虫の早期発見・防除に努める。

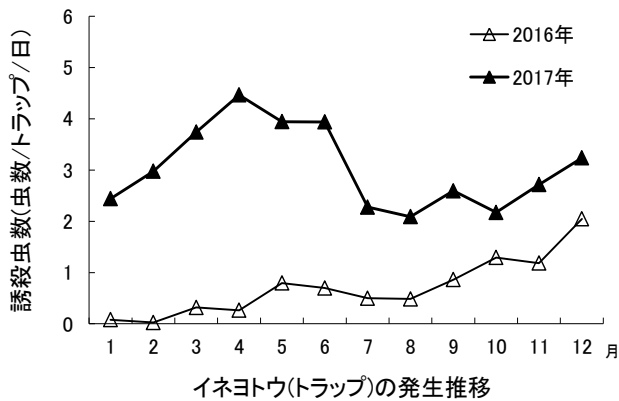
作物	さとうきび	地域	宮古群島
病害虫名	③ メイチュウ類(イネヨトウ)		
7月の発生量(現況)	並		
8月の増減傾向	→		
増減傾向の根拠	トラップ誘殺虫数の平年の発生推移から、7月と同程度の発生量と考えられる。		

発生量の根拠(調査結果)

今年と平年の推移



過去2年間の推移



防除のポイント

- ・発生源となるほ場及び周辺のイネ科雑草の除草を徹底する。
- ・幼虫期の防除が効果的なので、ほ場周辺の見回りを行い幼虫の早期発見・防除に努める。